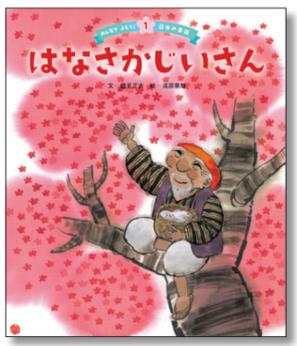


ハードカバー絵本
4・5 歳児
 クラス
 向け
 定価550円 (本体500円)
 23 × 20cm 32 ページ

みんなでよもう! 日本の昔話

幼児期だからこそ読ませたい、
不朽の昔話。



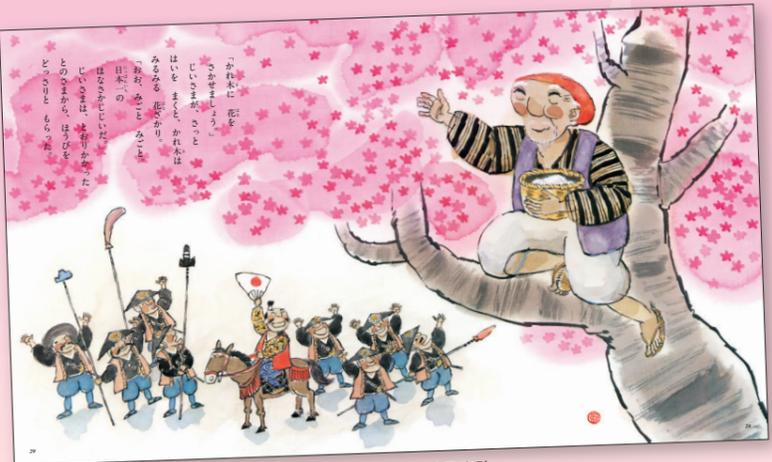
みんなでよもう! **日本の昔話** は、一年間こんなお話をお届けします。

**40年以上も愛され続けている
ロングセラーの昔話絵本です。**

情感豊かな絵とリズムカルでわかりやすい文章。どの作品も時代を超えて愛されつづけるようにと、一流の作家、画家が意欲的に取り組んだ傑作ばかりです。

小学校
 一年生の
 漢字使用
 と同じ
 国語教科書
 織書き!

月々550円でそろそろ
コンパクトな
ハードカバー絵本。



4月配本『はなさかじいさん』より 文/鶴見正夫 絵/滝原章助



8月配本『うらしまたろう』より 文/大石真 絵/鈴木博

“心の時代”の今だからこそ、昔話を!

はるか昔から語り継がれてきた昔話には、やさしさ、たくましさ、生きる知恵と勇気が、野性味たっぷりにあふれています。大切な心が軽んじられる現代だからこそ、幼児期に昔話と出会う意味はますます増しています。



9月配本
 『さるとかに』より
 文/小沢正 絵/渡辺三郎



11月配本『ざるじろう』より 文/こわせ・たまみ 絵/西村達馬



3月配本『ねずみのよめ入り』より 文/鈴木悦夫 絵/二俣英五郎

4月



はなさかじいさん

文/鶴見正夫 絵/滝原章助

「枯れ木に花を咲かせましょう」。灰をまくと、あら不思議、見事な桜が…。日本の五大昔話のひとつ。(長野県・岐阜県他の昔話より)

5月



したきり すずめ

文/木暮正夫 絵/遠藤てるよ

舌を切られたすずめを追って、おじいさんが竹やぶへ入っていくと…。日本の五大昔話のひとつ。(石川県の昔話より)

6月



ふるやの もり

文/小池タミ子 絵/渡辺三郎

「ふるやの もり」。それは、この世で一番おそろしいもの…!? 泥棒とおおかみの不思議でゆかいな物語。(東北地方の昔話より)

7月



わかがえりの水

文/間所ひさこ 絵/若菜 瑠

山で見つけた小さな泉に湧く水。それは、飲むと若返る不思議な水でした。おばあさんは、つい欲が出て…。(山梨県の昔話より)

8月

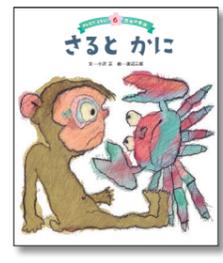


うらしまたろう

文/大石真 絵/鈴木博

ある日、助けたかめに連れられて、浦島太郎は海の中の龍宮城へ…。日本の代表的な昔話のひとつ。(鳥取県他の昔話より)

9月



さるとかに

文/小沢正 絵/渡辺三郎

意地悪なさるにお母さんを殺された子にたちは、はちや栗といっしょに仇討ちに。日本の五大昔話のひとつ。(秋田県の昔話より)

10月

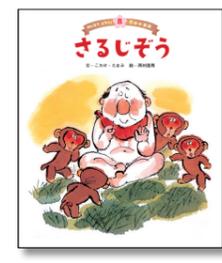


さんまいのおふだ

文/木暮正夫 絵/箕田源二郎

「でっかい川よ出る!」。小僧は追ってくるやまんにおふだを投げつけます。スリリングで楽しい昔話。(岩手県他の昔話より)

11月

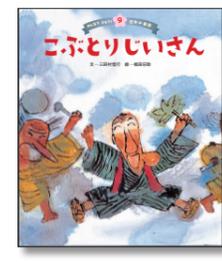


ざるじろう

文/こわせ・たまみ 絵/西村達馬

じいさまが、お地藏様の格好で座っていると、ざるたちがかつぎ上げて川へ…。リズムカルでゆかいな昔話。(山形県他の昔話より)

12月

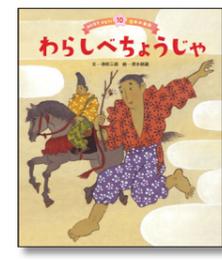


こぶとりじいさん

文/三田村信行 絵/福田庄助

ほったに大きなこぶがあるじいさま。ある日、木の穴で雨宿りをしていると、天狗たちがあらわれて…。(山形県の昔話より)

1月



わらしべちょうじゃ

文/奈街三郎 絵/清水耕蔵

若者がつかんだ1本のわらしべ。それがみかんになり、絹の反物になり…。繰り返しが楽しいお話です。(宇治拾遺物語より)

2月



かもとり ごんべえ

文/鈴木悦夫 絵/太田大八

欲を出したごんべえは、一度に100羽のかもを捕まえます。ところが逆に、かもに引っぱられ空へ…。(熊本県他の昔話より)

3月



ねずみのよめ入り

文/鈴木悦夫 絵/二俣英五郎

「娘に世界一立派なおむこさんを」と、ねずみの夫婦は旅立ちます。世界で一番立派なのはだれでしょう? (滋賀県の昔話より)